

年間授業計画

教科・科目	日本文化論 [2] 単位	対象学年・組	3 年
教科書 副教材	自作教材、その他日本史B教科書・1年次使用の副教材「最新日本史図表」(第一学習者)等	教科担任	品川一博

学習目標	現代に生きている日本の文化の多様性の具体的な検証 伝統継承に必要な日本文化史に関わる学習 視聴覚器財等の積極的な活用による日本文化のより深い学習 日本文化に関する調査研究
------	--

学期	月	単元	時間	学習内容	学習上の留意点
前期	中間 検査まで	1. 現代に生きる伝統文化	10	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りの伝統文化の検証 今に生きる年中行事 正月～冬の行事 	自分の周りの伝統文化に気づき、それが自分の生活にどのように関わっているかを考えよう。
	学期末まで	2. 精神文化の伝統	12	<ul style="list-style-type: none"> 信仰の世界 神と仏 祭りと祈り その他(時間の許す限り) 	「神」「仏」の文化の世界を改めて見直してみよう。それが自分の日常生活に占める位置を考えてみよう。
後期	中間 検査まで	3. 生活文化の伝統(続)	30	伝統的生活様式の系譜 衣 食 住 <ul style="list-style-type: none"> 地域の伝統文化を調べよう 遊びと娯楽 子供の遊び・大人の娯楽 	民衆生活に根ざした幅広い日本の伝統文化の流れを理解しよう。
	学期末まで	4. 芸能文化の伝統 5. 現代文化の諸相	18	民衆芸能の系譜 <ul style="list-style-type: none"> 能 歌舞伎 落語その他 日本文化の今後 <ul style="list-style-type: none"> 未来に残す日本文化 	伝統芸能の世界にふれてみる。そこから何がつかめるか。文化の素養を広げよう。また今に生きる自分たちにとって、日本文化のもつ意味とは何なのだろう。高校を卒業して、社会人となる自分の問題として考えよう。

評価の 観点・方法	参加：授業への出席(1割) ※遅刻や居眠りはいけません。
	活動：授業への取り組み度(毎回の課題提出)、レポート提出・ノート提出(5割)
	定着：定期的な確認テスト(4割)
	その他：